

せいすい 生水だより

人は1日約3ℓの
飲料水が必要！

平成29年9月号

No.55



上下水道部ホームページは、市ホームページから「生駒市水道事業」へアクセス
☎ 上下水道部総務課 (☎79-2800)

飲料水の備蓄で

災害に備える

災害に備えて3日間程度の飲料水を備蓄しましょう

毎年9月1日は「防災の日」です。災害に対する備えを家族で話し合いましたか。こうした日をきっかけに、しっかりと話をしておくことが、いざという時の被害を減らします。

大災害の場合、広範囲で水道が断水する可能性があります。普段から災害に備え、応急給水活動が軌道に乗るまで、最低でも家族が3日間程度生活できる飲料水を備蓄しましょう。

■飲料水備蓄の手順

①ポリタンクなどを用意し、水



▲備蓄には給水にも使えるポリタンクが便利

道水で十分に洗浄する

②ポリタンクに水を入れて空気が入らないようふたをする

③直射日光が当たらず、風通しの良いところで保存する(保存期間は塩素の殺菌効果が持続する3日間が目安)

④3日間を過ぎたら花の水やりや洗濯などに使用し、新しい水に取り替える

——災害時は飲料水以外にも多くの生活用水が必要です。お風呂の残り湯を溜めておくと、断水時に、トイレを流すなどに活用できます。

災害時の断水にはポリタンクなどを持って応急給水拠点へ

災害時に断水となったときは、原則避難所である公共施設に応急給水拠点を開設し、市民の皆さんに給水します。給水の際にはふたの閉まるポリタン

最低限必要な飲料水の備蓄量を計算してみよう！

1人1日:約□ℓ
×
家族の人数:□人
×
3日間
||
約□□ℓ必要

※ヒントはこのページにあります。

クなど、水を持ち運びできる容器が必要ですが、飲料水袋も用意してありますが、数に限りがあります。水は手で持つと容量よりも重く感じるのので、リュックサックなどがあれば運びやすいです。

——応急給水拠点の開設場所や給水時間などの詳細は、市ホームページや広報車などでお知らせします。避難所や災害時の給水方法は日頃から市ホームページで確認しておいてください。



▲確認はこちら



▲毎年給水訓練をしています

News 利き水体験でおいしさ実感！生駒の水道水

生駒市上下水道部では生駒の水道水PR事業の一環として、ベルステージやいこまんどこまつりの会場などさまざまな場所で利き水体験を実施しています。水道水・国産と外国産のミネラルウォーターの3種類を飲み比べ。約6割の人が3種類の中から水道水を当てられず、生駒の水道水が他と遜色ないおいしさであることを実感してもらいました。利き水体験の結果は、生駒市上下水道部ホームページをご覧ください。



▲たくさんの方に参加していただきました



▲おいしかった水は水道水？